佐藤渡辺 車両通行を維持しながらトンネル内施工

横断福士楮根地区舗装工事で 佐藤渡辺関東支店は、中部 ンネル内のコンクリート施 ム工法を採用し、車両通行を 工に縦取り式スリップフォー

トを打設 維持しながら連続鉄筋コンク 工事に隣接する工区では新清 ^ハートの打設を実施した。 同

水JCT~富沢IC間の3月

通行車線を確保し 自動車道の建設工事の一環。 長野県の3県を結ぶ中部横断 迅速に同工程を完了させた。 行を確保しながら、安全かつ で隣接工区へ向かう車両の通 ため、同工法で施工すること 10日開通に向けて急ピッチで 上事が進められている。 その 同工事は静岡県、山梨県、 取り式スリップフォーム工法 れ、これらのトンネル内を縦 で施工し、8日間でコンクリ るため、一般的な横取り式ス 機を導入することでアジテー 工法は、コンクリート縦取り

約1・9*の工区には楮根第

夕車を工事車線上に配置し鉄

に進めるため、従来の地組方 業とコンクリート打設を同時 が可能だ。鉄筋の組み立て作

はライフサイクルコストの面 者を務める辻伸恭氏は「今後

ため、今回の工事に当たって

そろえた。

縦取り式スリップフォーム ト打設を終わらせた。

通行車線を常時確保すること リップフォーム工法と異なり

んでいる。同工事で監理技術 舗装の受注に積極的に取り組

楮根第三トンネル (約165 根第二トンネル(約131ば) が)の3本のトンネルが含ま 一トンネル(約380別)、楮

独自の縦取り機で余裕 をもって鉄筋組み立て が可能

式と比較して約1

からもコンクリート舗装の増

は、近畿支店に所属し同工法

加は予想される。そのニーズでの施工経験豊富な吉村祐一

割の工期短縮が期

取り機は全長約32 独自に考案した縦 待できる。同社が

立て作業スペース があり、 鉄筋組み



筋組み立て作業と生コン材料を長めに確保しているため、

の供給・打設を同時進行させ余裕をもって安全に作業でき

ることを特長としている。

同社は現在、コンクリート

支店での採用は初めて。その 支店では同工法による複数の 事において、 施工実績があるものの、関東 東北支店や近畿 の工程を進めていく」と声を

る。これまで国土交通省の工 に合わせたものだ」と説明す 氏が現場代理人を務めてい る。 若手技術者が4人従事してお 同現場には20代から30代の

日の実施にも取り組んでい ・無災害で完成に向けて残り る。それを踏まえつつ無事故 と辻氏は「当現場では週休2 手の時代だ。コンクリート舗 り、吉村氏は「これからは若 の進捗率は15%程度。吉村氏 ないので、彼らに後継者に育 装の経験者は社内ではまだ少 ってほしい」と期待を示す。 2月22日現在の同工事全体